

「教養」を力に、社会に貢献する。 天理大学の新カリキュラム

天理大学では、再編後の新カリキュラムにおいて「教養の涵養」を大切にしています。総合教育科目と学科における専門科目との連携を強めることで、学生の「専門性と社会人基礎力」を同時に育み、社会に貢献していくための基盤を築きます。また、各学科ではめざせる将来像を明確にしながら学ぶための「履修モデル・資格モデル」を用意しています。さらに充実した国際プログラムや課外活動の機会を通じ、国内外の地域で学びを実践することができます。



学部・学科 INDEX

*各学科ページの「学びを未来に活かす履修モデル・資格モデル」では、モデル名を以下のように分類しています。

- ・履修モデル：特定のキャリアをめざすために推奨されるカリキュラム・モデル
- ・資格モデル：資格を取るためのカリキュラム・モデル
- ・プログラム：天理大学が認定証を発行するプログラム（構想中）

学部・学びの方針	学科	学びのポイント	頁
人文学部 多種多様な文化財や史跡に囲まれた立地と、附属天理図書館・附属天理参考館の豊富な文献・資料を活用しながら学び、長年の実績と信頼を基礎に、教養を力に地域社会を支え共創できる人材をめざします。	宗教学科 国文学国語学科 歴史文化学科 心理学科 社会教育学科 社会福祉学科	1. 「実践性」と「現代性」を重視 2. 3つの履修モデルで将来像を明確化 3. 「おぢば」で学ぶ貴重な4年間 1. 教員をめざす学生の充実サポート 2. 多様な進路に対応した履修モデル 3. 輪講など課外演習、図書館施設も充実 1. 「ほんもの」の文化財に触れて学ぶ 2. 将来を見据えた各履修モデル 3. キャンパス内外に広がる学びのフィールド 1. 少人数制による親身な指導 2. 心理学の学びを活かして活躍する 3. 現場での支援活動で実践的に学ぶ 1. 「社会教育」を支える 2. めざす将来像に沿ったプログラム 3. キャンバスを飛び出して学ぶ 1. 社会福祉のプロをめざす 2. 国家試験で高い合格率を達成 3. 現場で対人援助職に必要な力を養う	P.44 P.46 P.48 P.50 P.52 P.54
国際学部 国際教育の伝統を受け継ぎながら、変化し続ける世界で活躍できる国際人を育成。グローバルな視点で見つけた課題を各地で実践できる「グローカル」な人材像が目標です。	韓国・朝鮮語学科 中国語学科 英米語学科 外国語学科 国際文化学科 日本学科 (留学生対象)	1. 語学力+幅広い専門性を身につける 2. 海外語学実習や留学機会も充実 3. 将来を見据えた履修モデル 1. ICTを駆使して効率的に楽しく学ぶ 2. 日本→台湾を学べる大学 3. 中国語ボランティアで地域貢献 1. オーラルコミュニケーション重視 2. 海外で学べるチャンスが充実 3. 卒業後の進路を意識した履修モデル グローバル化時代に需要の高まる7言語（タイ語・インドネシア語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語・ブラジルポルトガル語）から希望する1つの言語を選択して学びます。 1. 共生社会を支える 2. 「やさしい日本語」を学ぶ 3. 学びを未来に活かすプログラム 1. 日本語と日本文化の知識を深める 2. 各レベルに対応した日本語クラス 3. 卒業後を意識したカリキュラム	P.58 P.60 P.62 P.64 P.66 P.68
体育学部 世界に誇る競技者や指導者を輩出してきた伝統を継承しながら、体育・スポーツの喜びを広く伝え、社会の指導的立場に立てる力とグローバルな視野を育成します。	体育学科	競技スポーツコース 「めざす」競技力の向上を追究する スポーツ教育コース 「はぐくむ」優れた指導者をめざす スポーツ文化コース 「つくる」スポーツで交流を生み出す 健康スポーツコース 「ささえる」健やかな暮らしに貢献する 武道コース 「きわめる」伝統文化の担い手をめざす	P.72
医療学部 「人に尽くすことを自らのよろこびとする」という天理医療大学の教育理念を引き継ぎ、高い専門性と倫理観を具えた医療人を輩出し、地域社会に貢献する力を養います。	看護学科 臨床検査学科	1. 知識・実践能力・ケアの心を育む 2. 天理よろづ相談所病院での臨地実習 3. 9割が天理よろづ相談所病院に就職 1. ニーズの高まる「臨床検査技師」に 2. 臨地実習で、チーム医療を学ぶ 3. 卒業研究指導で、即戦力として成長	P.76 P.78

2024年4月に改組予定の新学部・学科の情報になります。

*2023年4月現在設置構想中。学部学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。

体育学部

体育学科

Question

体育やスポーツには、
どんな可能性がある？

Answer

健康増進はもちろん、
感動や楽しさで
ひとや地域社会をつなぎます。

学びのポイント

1. 現場重視の学びで 保健体育科教員に

本学部は1955年に西日本初の体育学部として創設されました。保健体育科教員免許状取得のためのカリキュラムを柱としており、多様な実技が学べるなど、現場で役立つ内容が強みです。多数の卒業生が教育現場で活躍しています。



2. 体育を通じて 地域社会に貢献する

本学部で身につくコミュニケーション力・プレゼンテーション能力はさまざまな進路で役立ちます。リーダーとして組織を牽引し、地域社会においてコミュニティの醸成や生涯スポーツ、レジャー教育に携わるひとに成長できます。



3. 公務員就職・資格取得 サポートも充実

天理大学の特徴のひとつは、公務員就職への安定した実績です。体育学部体育学科を中心に、特に警察官として活躍する卒業生を多く輩出しています。またスポーツトレーナーなど、各種資格取得のサポートも充実しています。



学びのヒント

学部の学びのヒントになる引用、キーワードを紹介します。

教育の秘訣は、
生徒を尊重する
ことにある。

—ラルフ・ワルド・エマーソン(思想家)

チーム全体のプレー
が、その成功を左右
する。

—ペーブ・ルース(野球選手)

三流の人は、道
を追う。一流の
人は、道を選ぶ。
一流の人は、道
を創る。

—井村雅代(アーティスティックスイミング
指導者・本学部卒業生)

人生にとって大切な
ことは成功すること
ではなく努力すること。

—ピエール・ド・クーベルタン
(近代オリンピックの父)

日本語以外の言語を勉
強し違う文化を体験す
ることで、視野が広がり、
価値観もがらっと変わり
ます。

—マイケル・ジョーダン(バスケットボール選手)

リーダーとなる
ためには、行動
によって仲間か
ら尊敬を集めな
ければならない。

—マイケル・ジョーダン(バスケットボール選手)
成功とは自分の達成度
のことだ。他人を気にす
る必要は全くない。

—イアン・ソープ(競泳選手)
ぼくはストーリーの
あるチャンピオンに
なりたい。

—大野将平
(柔道 五輪メダリスト・本学部卒業生)

体育学科

Department of
Physical Education

体育・スポーツの 価値を高め、伝える

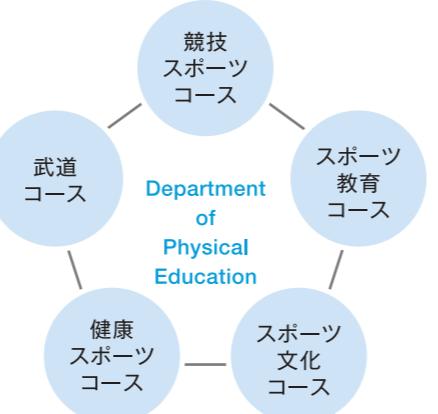


学科の構成

体育・スポーツには、アスリートだけではなく教育や健康の領域もかかわっています。さらに、本学では、表現活動やスポーツビジネスなどの領域にも注目。興味関心に合わせて、3年次より5つのコースから選択して学びを深めます。

めざす将来像

小学校・中学校・高等学校教員、プロ選手、
実業団所属選手、トレーナー、公務員、一般企業勤務など



各コースの学びのポイント

競技スポーツコース

「めざす」

競技力の向上を追究する

五輪代表やプロ選手などを多数輩出した伝統を受け継ぎ、優れたプレーヤーを育成。一流選手を育てたノウハウやスポーツ科学にもとづくトレーニング法、栄養や身体のケアに関する知識を自らの競技に活かしながら、指導者に必要な力も磨きます。

スポーツ教育コース

「はぐくむ」

優れた指導者をめざす

これまで多数の保健体育科教員を輩出してきた実績のもと、豊富な実践を含む独自のカリキュラムが充実。保健体育科に必要な7領域の体育実技種目をはじめ、「スポーツ教育学」や「野外教育論」などを幅広く学習することができます。

スポーツ文化コース

「つくる」

スポーツで交流を生み出す

スポーツを通して社会に貢献する可能性を探り、スポーツを文化として捉えることで、その楽しみ方や感動を創造する力を育みます。ダンスやレクリエーション活動にかかる科目が充実しているほか、スポーツビジネスについても学びます。

健康スポーツコース

「ささえる」

健やかな暮らしに貢献する

本コースでは、身体理論や栄養学、医学、トレーニング理論、身体のケア、健康政策などを幅広く学び、ひとの健康を支える力を養います。栄養・運動・休養の3本柱を学ぶ科目で、現代人の健康づくりに必要な知識と実践力を身につけます。

武道コース

「きわめる」

伝統文化の担い手をめざす

武道は、日本が世界に誇る伝統文化です。本コースでは、武道の精神を深く理解し、国際交流に貢献できるひとをめざします。五輪代表や全日本代表として活躍した選手やコーチが教員として在籍しており、勝負の本質や切れ味のある技を直接学ぶことができます。

4年間の学びの流れ

1年次 基礎的な知識を身につける

各講義科目や陸上競技、器械運動、水泳等の実技授業から体育・スポーツの専門家としての基礎的知識や能力を身につけます。

代表的な授業

1年次 天理スポーツ学

天理特有の精神的風土によって醸成された「天理スポーツ」。天理で行われてきたさまざまなスポーツの歴史や理念を理解し、「スポーツ人」に必要な知識や態度を身につけます。



2年次 知識を深め、実践能力を伸ばす

1年次に学んだ知識をさらに深め、実技科目を通じて実践経験を積みます。また指導者に相応しい基礎能力も身につけます。

2年次 スポーツ文化論

「スポーツ」の価値は時代によって異なります。スポーツが文化として営まれ始めた先史時代から現代に至るまでの意味づけや社会背景、思想、価値観の変遷について学びます。



3年次 各コースでの知識を深める

5つのコースに分かれて各分野の知識をさらに深め、各分野の体育・スポーツの専門家となれるように自らを磨きます。

3年次 体育学演習

自分の興味関心で選んだ各コースの各教員のゼミに所属し、専門分野の深い知識を身につけます。自ら課題を探求してテーマを見つけ、その課題を解決する能力を身につけます。



4年次 実技指導・実践能力を高め、卒業研究に取り組む

【卒業研究の例】

- ・高校球児の野球グラブ購入時のブランドロイヤルティに関する研究
- ・走高跳における踏切動作がパフォーマンスに与える影響について
- ・体育の教師はなぜ保健の授業が苦手なのか?
- ・剣道の国際化に関する一考察 —アメリカ・ロサンゼルスを中心に—
- ・キャプテンのメンタルヘルスとリーダーシップ行動の関連性

Student Voice

体育学部 体育学科
競技スポーツコース 3年次生
深川 佳蓮さん



Q. 現在の学科を選んだ理由・きっかけは?

大好きなスポーツについて色々な角度から学んでみたいと考えたため。

Q. 学科の授業で感動したエピソードは?

「スポーツコーチ論」で、トップアスリートと指導者の絆に感激。

Q. 学科を選んで良かったことは?

スポーツに関して意識の高い学生がたくさんいて刺激になる点。

Q. 社会を良くするために、何が必要?

社会問題に関心を持ち、相手と向き合い深くかかわろうとする姿勢。

就職実績

就職率 99.4%

※2022年3月卒業生実績

主な就職先(直近5年)

フジタ、井村屋、東レ、ユニチカ、サイエンス、日本新薬、コーワー、共和、住友電気工業、リコー、クボタ、マキタ、グローリー、東芝、豊田自動織機、アドヴィックス、西武ガス、産業経済新聞社、NTTドコモ、西日本旅客鉄道(JR西日本)、東海旅客鉄道(JR東海)、近畿日本鉄道、丸紅、中山通商、ストライプインターナショナル、南都銀行、尼崎信用金庫、岩井コスモ証券、ルネサンス、アイ・ケイ・ケイ、教員(愛知県、福井県、広島県、大阪府、私学他)、総合警備保障、トランスクスモス、法務省矯正局(刑務官)、防衛省自衛隊、警察(警視庁他全国)、消防(奈良県広域他全国)、三重県、宇陀市 他 (順不同)

※ 学生の所属学部・学科等の名称は2023年3月時点のものです。